

黒松小学校 学校支援地域本部



黒松もりあげ隊便り



保護者や地域の皆様の力を生かして、子供たちの学校生活や学習を支援する学校の応援団『黒松もりあげ隊』は、「子供たちの豊かな経験、学びの場」として冬休み中に学習、制作分野で冬の講座を実施しました。その時の様子を含め、12～2月のもりあげ隊の活動の一部をご紹介します。

※ボランティアは、毎日の検温・体調確認、手洗い・消毒、マスク着用などの感染防止対策を行った上で参加しています。

◇4～6年生「読み聞かせ」ボランティア（12/2・12/16・1/20）

学校の重点目標である読書活動の推進の一環として、1～3年生やすみれ・ひまわり・たんぼぼ学級でお世話になっている「めだかのがっこう」さんに、4～6年生へ読み聞かせを行っていただきました。どの学年の子供たちも集中して聞いていて、お話の世界に入り込んでいるようでした。

1年ぶりの「めだかのがっこう」さんの読み聞かせは、想像をふくらませたり考えを深めたりと、子供たちにとって心豊かな時間になったようです。



◇冬の講座 書き初め練習会（12/27）

27名の子供たちが参加し、1・2年生は硬筆、3～6年生は毛筆のお手本を見ながら、一画一画丁寧に練習しました。書道ボランティアの川島弘子さんや教員志望の大学生ボランティアさんに、筆の運び方を見てもらったり美しく書くためのポイントを教えてもらったりしながら、みんな集中して取り組んでいました。書いたものをしっかり見直して、納得いくまで練習する姿も見られました。年明けの本番でも上手に書けたことと思います。



◇冬の講座 お正月リース作り（12/27）

34名の子供たちが参加し、折り紙を使ってオリジナルのお正月リースを作りました。子供たちはボランティアさんの説明をしっかりと聞いて、パーツを一つ一つ作っていきました。12枚のパーツを組み合わせて丸いリースの土台を作る工程で苦戦する子もいましたが、ボランティアさんにサポートしてもらいながら、世界に一つだけのお正月リースを作り上げました。素敵なお正月リースで歳神様を気持ちよく迎え入れられたことでしょう。



◇雛人形飾りボランティア（2/4）

黒松小学校には地域の方からいただいた、七段飾りの立派な雛人形があります。今年もその雛人形を第2図書室に飾りました。本を借りにきた子供たちは、雛飾りの前で足を止めて、お内裏様やお雛様、様々なお道具などを見て目を輝かせています。

黒松もりあげ隊では、今後もこのような年中行事を大切にしてお子様の学びを支援していきたいと思っております。雛人形は桃の節句まで飾り、3/4にボランティアのみなさまに片付けていただく予定です。



黒松もりあげ隊では、今後も新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、学校・家庭・地域が手を携えて、我が子、我が地域の黒松小学校をもりあげていけるよう活動していきます。皆さんもご協力よろしくお願いします！